

TIG、MIG、MAG等
も含まれます！

アーク溶接作業には 防じんマスクが必要です！

～マスクなら何でもいいわけではありません！～

アーク溶接作業時に発生する白い煙の正体は溶接ヒュームです。

溶接ヒュームは、溶融金属の蒸気が空気中で冷やされて微小な金属粒子となったもので、気道を通して肺に取り込まれ、じん肺の原因となります。

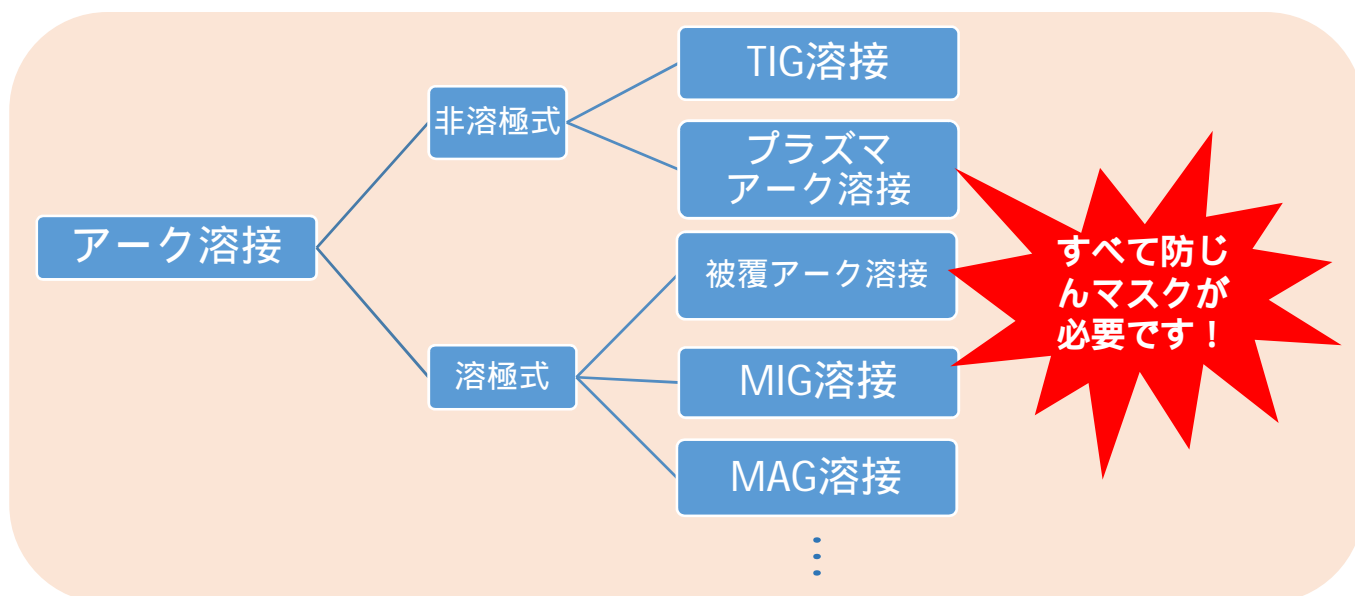
じん肺とならないためには、溶接ヒュームにばく露しないことが重要です。

そのために、適切な防じんマスクを確実に着用しましょう。

H24.4より、**屋外におけるアーク溶接作業**についても防じんマスクの使用が義務となっています。
適切な防じんマスクについては裏面へ！



アーク溶接とは、アーク放電現象により発生する熱を利用した溶接の**総称**であり、**シールドガスを使用する下記のような溶接も該当します。**
また、溶加材の供給方法による分類である「**半自動溶接**」等も同様に**アーク溶接に該当します。**



金沢労働基準監督署

厚生労働省

アーク溶接作業時における適切な防じんマスクについて

【ガーゼマスク】



【不織布マスク】



ドラッグストアなどで販売している風邪用や花粉症用のマスクはアーク溶接時には**使用できません**。

【適切な防じんマスクの例】



【使い捨て式】



【取り換え式】



【電動ファン付き】

Point!

防じんマスクは、型式検定合格品を使用する必要があります。型式検定合格品については、すべてに型式検定合格標章が表示されています。

ホームセンター等で購入する場合、「粉じん作業用」等と表記されているものでもこのマークがあるか確認してください。また、アーク溶接作業時の防じんマスクのレベルは、DS2・RL2以上のものでなければなりません。

防じんマスクは、作業内容、作業環境等に応じて適切な種類を選定する必要があります。

防じんマスクの選定基準については、H17.2.7付け基発第0207006号に示されています。

国（'19）検
第 号
DR「捨」DS2

型式検定合格標章の例
（使い捨て式、DS2）

詳しくは...



防じんマスク 選定基準



金沢労働基準監督署